

あすを拓く



株式会社 AZOTH
代表取締役
相澤 謙市さん

AZOTHというのは、元々錬金術師の賢者の石の名だそう。

そしてその綴りには、物事の始まりと終わりはまた始まりへと続くという意味が。

義兄はNHK震災復興ソング「花は咲く」の作詞をした映画監督の岩井俊二さん。まさに「AZOTH」の花が咲きはじめています。

プロフィール
1969年宮城県仙台市生まれ。1984年仙台市立第二中学校を卒業。20代から飲食店やショップの経営に携わり、2000年に簡易シルクスクリーンプリント機1台でAZOTHを立ち上げる。仙台でオリジナルブランドやショップを展開する株式会社カーピングとの取引を開始し、本格的にアパレル業界へ参入。現在に至る。



「スタッフが作ってくれた最高の物を、全国に届けることが私の仕事です。相澤社長のクオリティへのあくなき追求がAZOTHの躍進の原動力なのかも知れない。



様々なプロジェクトとのコラボ商品も多数。連帯感の中で作るのがTシャツの魅力



環境負荷の少ない水性印刷台が125面並ぶ。1枚1枚手刷りで制作していく



まるで刺繍に見える発泡インク印刷は京都の技術とAZOTHの技術の融合

簡易プリント機1台からスタート 内面からのやる気で応援がつく

23歳からラーメン屋やカフェレストランの店舗経営を始めたという相澤社長。「儲ければいいやという感覚で、あきるとすぐフェードアウトしていました」と当時を振り返る。30歳を過ぎたころに結婚し子どもも授かった。「もう簡単に辞められないぞ」と思い、それで自分で問い返してみたいです。何で辞めてしまふんだらうと」。

見つけた答えはシンプルなものだった。「好きなことをやっていないからだ」。

服が好きだった。世界にも発信もできる。アパレルという仕事が相澤社長の中で大きな存在になった。

そんな折、知り合いのデザイナーから、「シルクスクリーンが面白い」という話が舞い込んだ。高森にあるガレージに行くことになり、簡易プリント機1台、愕然としたという。「これでビジネスになるのか?」

順調にオーダーは増えてきたが、1枚1枚印刷したものをドライヤーで乾かすという地道な作業。取引先のブランドショップの社長さんも心配でやってきた。「これ1台でできるわけないだろう」と。それに対して「絶対自信がある」と熱く語った。社長さんも折れて機械を購入する資金も支援してくれた。「やる気があれば応援がつくん」と相澤社長はその時知ったという。

ファンも増え、本格的にアパレル業界へ参入。大手アパレルブランドのプリントを担当。さらにファクトリーブランドの発表、直営店舗のオープンと快進撃は続いた。

**2011年の震災で工場が全壊
全国の同業者たちに支えられて**

仕事が増え、卸町の大きな工場への引越しも実現。順調に行き始めていた時、最大の危機が訪れた。

3月11日の東日本大震災。工場の壁が落ち、天井が落ちた。従業員にけががなかったことだけが幸いだった。工場は「全壊」の判定を受けた。「さすがにこの時は、会社の存続を諦めかけました」。

しかし、時期はちょうど春夏物の生産のピークが迫る時。お客様には迷惑をかけられないという想いで、京都などの同業者に

協力を仰いだ。「困った時に助けあうのは当たり前だ」と次々と協力を申し出てくれた。工場の一部を提供してくれたり、外注を引き受けてくれたりと、仲間の協力で、震災前の生産量が維持できたという。新たな注文もこなせたという。

さらに「転んでもただで起きない」という精神。京都の工場は着物の染めの流れをくみ、技術力が高い。これにAZOTHの強みである企画デザイン力と営業の力を組み合わせれば、オリジナルブランドの計画が持ち上がった。

京都にある高い染色技術を吸収することで、海外に向けて新しい発信をすることができるようになったという。現在、発泡インクを利用し、まるで刺繍に見えるような印刷をする技術の開発を行うなど、AZOTH独自のユニークのものづくりの方向性が広がっている。

**商品づくりのすべては
お客さまの視点から生まれる**

相澤社長がものづくりにおいて一番大事にしているものは何かを尋ねてみる。返ってきた答えは、「お客様からの目線で見ること。お客さまから見てこのデザインはいいのか? 販売・配送の仕方はいいのか? という判断を常に社員に求めています」。オーダーメイドにこだわった手作りのTシャツづくりにもこの思想が息づいているようだ。

扇町の新工場で生産を始めたAZOTHは今、デザインを担当する代官山の「セブ

株式会社 AZOTH

Tシャツなどカジュアル衣料の企画、デザイン、製造加工を行う。企画から製造、販売までを一貫して行う体制を確立。東京事務所の設立や、アーティストとのコラボレーションプロジェクトなど活躍の幅を広げ、自社ブランドの海外展開も視野に入れている。

■所在地
仙台市宮城野区扇町 5-2-16
TEL 022-236-1886
FAX 022-236-1887
http://www.azoth-net.jp



施設に入っている子どもたちのTシャツ寄贈イベントを恒例としている。子どもたちからの嬉しい寄せ書きTシャツ